

受賞おめでとうございます
丸山さんが交通栄誉緑十字銀章



このほど、丸山一郎さん(63歳=1の町)が、交通

安全功労で、警察庁長官・全日本交通安全協会会長から交通栄誉緑十字銀章を贈られました。

善行青少年
がんばる大竹くん



青少年健全育成市民会議の席上、善行青少年として、

大竹喜一くん(沖新保、庄瀬中3年)が表彰されました。

大竹くんは、53年1月、母親の病死という家庭環境にもくじけず、家事や農作業を手伝い、生徒会長としても活躍し、一日一善運動や奉仕活動を率先して行い、他の模範となっています。

市民総ぐるみの青少年健全育成を図ろうと、二月十五日、青年教育センターで市民約百人が集まり、青少年健全育成市民会議を開きました。
この市民会議で、「青少年の社会参加や、健全な家庭づくり運動の推進と、自動車旅行ホテルなどの青少年健全育成上好ましくない施設の建設に反対し、住民と一体となって社会環境を浄化し、青少年の非行を防止する」など四項目の大会宣言を採択しました。
このあと、県社会教育協会主幹の吉津勝栄氏による記念講演と、善行青少年の表彰式が行われました。



▲体育館は熱気がムンムン。先生も力をあわせて—

▼青少年に有害な環境を浄化しましょうと、大会宣言を採択



市民総ぐるみの非行防止を

青少年健全育成市民会議

先生も一緒に真冬の大運動会

茨曾根小学校児童会

茨曾根小学校の全校児童と先生約150人を9チームにわけて、2月5日、児童会リレー大会を開きました。

企画も運営も児童会が行い、種目もピンポン玉運び、二人三脚、ボール運びなどさまざま。真冬の大運動会に、汗を流していました。

手づくりのおもちゃを
子どもたちにプレゼント

手づくりのおもちゃを、子どもたちにプレゼントしようとして、一月二十七日、白蓮保育園母の会が、各家庭でいらなくなった布切れなどを持ち寄って、ぬいぐるみやかめのこなどをつくりました。

一日でつくるハードスケジュール。でも「自分たちもけっこう楽しいんですよ。それに勉強にもなるしね」とはお母さんたちの声。母の会会長の原 朋子さんは「お金を出し合って、市販されているものを買うより、真心がこもっていいと思うんです」と話していました。



▶「子どもたちの喜ぶのが楽しみです」と、いっしょけんめいにつくるお母さんたち

ヒックス

25年の幕を閉じる
加茂農林庄瀬分校が閉校

加茂農林高校庄瀬分校の閉校式が、2月17日、庄瀬中体育館で行われました。「母校がなくなるというのは、とても寂しい気持ちです。なんとか続けてほしかったのに……」と涙ぐむ卒業生も——。創立以来25年間の幕を静かに閉じました。



▲25年間の思い出が胸を駆けめぐる閉校式



鬼は〜そと 福は〜うち
市内の保育園で豆まき

2月4日は節分——この日、市内の各保育園で豆まきが行われました。

「豆をまいて、泣き虫鬼、いじわる鬼をおい払いましょう」と園長先生。園児たちは、自分でいっしょけんめいにつくった赤鬼や青鬼のお面をつけて、遊び室を元気よく飛びまわりました。

▶降り続く雪なんてなんのその。ショートパンツやスカートの子どもたちも元気に滑りまわります



グランドスキー場は大はやり
白根小学校

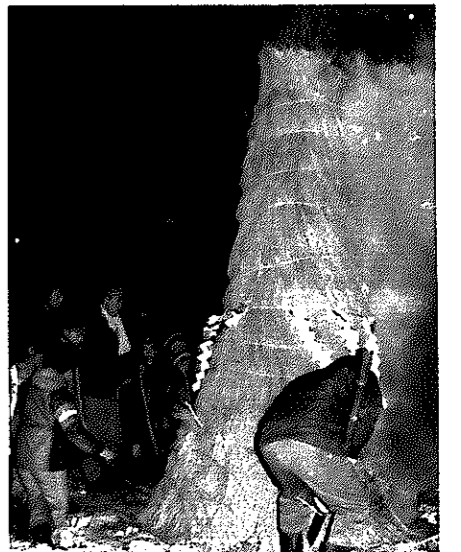
「寒さなんてヘッチャラさ」「ほんとに楽しいよ」子どもたちは、グランドに2つ、中庭に1つある雪の山に群がるように、スキーを楽しんでいます。

「学校建設中の業者のブルドーザーでつくってもらったものなんです。全身運動で子どもたちの体力づくりにも、とてもいいですね」と、教頭先生。休み時間や放課後だけでなく、体育の授業にも使っているそうです。

◀元気がいっぱい飛びまわる
大郷児童館での豆まき

臼井で「サイの神」行事が

今年も、臼井で「サイの神」行事が行われ、一年間の無病息災を祈りました。しめなわなどで飾られた三本の塔に火がつけられると、見物に訪れた人から「こいういった伝統行事は、ずうつと続けてほしいですね」という声が聞かれました。



▲天を焼く炎、伝統行事に子らの歓声